

平成28年11月29日

PTA会員 各位

PTA会長 米川 幸美
家庭教育学級委員長 草野 香織

第3回家庭教育学級 講演会 及び 閉級式のご報告

初冬の候、皆様ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。
さて、先日開催いたしました第3回家庭教育学級 講演会、
及び 閉級式のご報告をさせていただきます。

記

- ◆日時 : 平成28年10月29日(土) 14:00~
- ◆場所 : 被服室(北校舎2F)
- ◆出席者 : 世田谷区教育委員会 社会教育指導員 原田 武司 先生
講師 LINE 株式会社 浅子 秀樹 先生
副校長 櫻井 章司 先生
保護者 20名
- ◆講演 : 「LINEの機能や子どもの利用例、リスク対策について」

1. LINE について

<LINEとは>

他のSNSが知らない人とつながるのに対して、家族や友達とのつながりをより簡単に楽しく充実させるためのコミュニケーションツールです。

<LINEの主な機能>

- ・トーク ... 文字を使ったリアルタイムの会話ができる。
スタンプ・写真・動画・音声・位置情報も送れる。
- ・グループトーク ... 複数の人と同時にトークが楽しめる。
一度に素早く用件を伝えることができる。
- ・既読機能 ... 返信がなくても、送信内容が相手に確認されたかがわかる。
- ・スタンプ ... 文字だけでは伝わらない気持ちを相手に伝えられる。
- ・タイムライン ... 自分の近況など、掲示板やブログのような感覚で個人の
情報発信ができる。

2. LINE 利用実態

<学年別 LINE 利用率>

小学生	約37%
中学生	約59%
高校生	約95%

進学(特に高校合格)のタイミングで
自分のスマホを持ち、LINEを始めるケースが
急増している。

<1日あたりのLINEの利用時間>

進学時（自分のスマホを持ち、LINE を始めた時期）に増える傾向にある。

<「友達リスト」に入っている人数とよくコミュニケーションしている人>

小学生 平均 30人 … 同じクラスの人や家族が中心。
中学生 平均 89人 … 同じクラス、同じ部活、他校の生徒など
高校生 平均111人 … 中学生以上はコミュニケーションが多様化する。

<LINE を利用して多く経験した「嫌なこと」>

「知らない人からの友だち追加」は学年が上がるごとに多く経験している。
悪口などのトラブルに遭っている事実は全体的に見ると低い。

<最も「嫌だな」と思った経験>

- ・知らない人からの「友だち追加」
- ・長時間、深夜のトーク、グループトーク
- ・話の最中にケータイ・スマホを触っている
- ・スタンプ連打
- ・既読無視
- ・写真を勝手に公開される

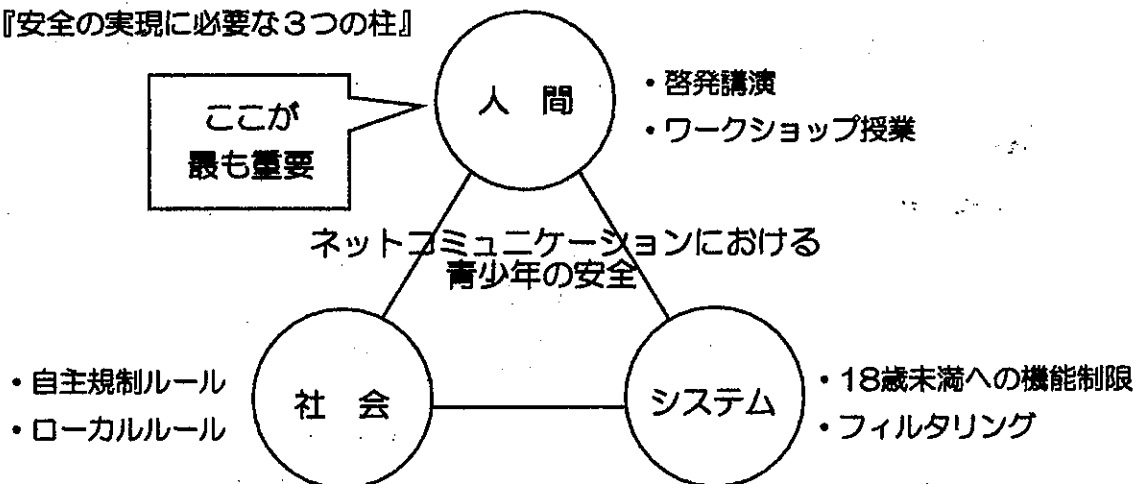
<最も嫌だなと思った経験をした後の対応>

多くの場合、特に何もしていない。
何らかの対策を打たなければならない場合、「自分で解決した」が一番多く、
他の人に頼ることは少ない。女性のほうが他の人に相談する傾向にある。

3. LINE が実施するトラブル対策

インターネットを安全に利用できる環境を整える

『安全の実現に必要な3つの柱』



<LINE が実施するシステム面での対策>

- ①年齢情報を用いた機能制限
18歳未満、及び年齢認証を行わない利用者のLINE IDの検索機能を制限しています。→子どもを利用者登録することが必要。
- ②通報機能
迷惑な内容のトークが送られて来た場合、LINE 株式会社に通報することができます。
- ③フィルタリング

<ネットリテラシー啓発の考え方>

使う人の意識を向上させる教育がなければ、システムも機能しない。
→カギは情報モラル教育

情報モラルとは … 日常モラル × ネットの特性理解 × 想像力・判断力

【日常モラル】

「倫理」「善悪の判断」「思いやり」等、基本的なモラルの向上

【ネットの特性理解】

「公開性」 … 誰もが閲覧できる

「記録性」 … 一度投稿されたものは半永久的に残る

「拡散性」 … 投稿がたくさんのユーザーにより瞬時に拡散する など。

【想像力・判断力】

ネット上の行動がどのような結果をもたらすのかを広く想像でき、
その上で適切な判断ができる力を養うことが大切

<LINE が実践するネットリテラシー啓発活動>

- ①「生徒主体」型の授業
啓発公演・ワークショップ型授業 → 児童・生徒間の対話を重視
- ②「自分の事」として考えられる素材の提供
児童・生徒向けワークショップ教材の開発
→身近な事例を題材に、コミュニケーションのあり方を、
児童・生徒同士で対話することで気づきを促す
- ③「考える」ことを重視
正解のない問題について考え、さまざまな視点や価値観を知る
- ④雰囲気を変えるスタンプの配布
- ⑤LINE 安心安全ガイドの公開

4. 子どもへの対応

★子どもの道徳心を育む

最低限のマナーを守ることの重要性を説明する。

→ネットが危ないのではなく、危なくするのは使っている人のモラルの問題。
トラブルの内容も一人一人のモラルの向上で解決できることが多い。

相手の状況を考えて、思いやりを持った発言や行動を。

★ネットの特性・危険を理解させる

対面でのコミュニケーションとネット上のコミュニケーションは違う。

→文字だけでは誤解されたり、伝わらないことがある。

特にスマホ、またはLINEの利用開始時のコミュニケーションが大切

→子どもがスマホやLINEを使い始める時、ネットへの理解やリスク意識が
ないとトラブルに巻き込まれやすい。

知識の少ない子どもを狙った犯罪があることを理解させる。

★家庭内でのルール作りをする

利用方法・利用時間だけでなく、ネットの特性や危険についても話し合う。

→大人自身が使い方や知識を得た上で、子どもと一緒に考えることが大切。

★子どもが相談できる環境づくり

親子間のコミュニケーションが大事

→普段から子どもとコミュニケーションをとり、子どもがトラブルに巻き込まれた際、ひとりで抱え込まず、誰かに相談できる環境づくりを行なうことが大切。

ワークショップ体験

カードを使い、4～6名のグループでのディスカッション。
周りの人との考え方や感覚の違いを実感し、ネットとの上手な付き合い方や適切なコミュニケーションを考える。

<先生からの質問にグループ全員で一斉に答えます>

Q1. 子どもの好きな定番の辛いメニューは？

A. カレーライス・麻婆豆腐・回鍋肉 など

Q2. 遅い時間って何時から？

A. 9時・10時・11時・12時

自分では「あたりまえ」と
思っていることも、
人によって違う

<先生が用意したカードを使って、質問に答えます>

Q3. 下の5枚のカードから、人に言われて一番嫌な言葉は？

- ・まじめだね
- ・おとなしいね
- ・一生懸命だね
- ・個性的だね
- ・マイペースだね

Q4. 下の5枚のカードから、人にされたら嫌な順に並べる。

- ・すぐに返信がない
- ・なかなか会話が終わらない
- ・知らないところで自分の話題が出ている
- ・話をしている時にケータイ・スマホをさわっている
- ・自分が一緒に写っている写真を公開される

嫌なことは人によって違う
自分にとっては嫌でも
相手は嫌だと思っていない
ことなのかも。。

Q5. 写真の公開について考える

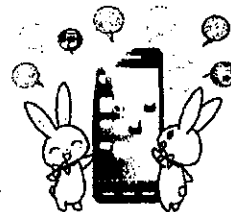
- ・関係のない人がうつっていないか？
- ・一緒に写っている相手に確認はとっているか？
- ・個人を特定できる情報がうつっていないか？
- ・場所を特定できる情報がうつっていないか？

写真を載せる前に
一度考えてみよう

みなさんご家庭でお子さんとやってみてはいかがですか？

【参加保護者アンケート（抜粋）】

- *何をするにも人間性・モラルが大事なのだと思いました。
- *規制するばかりでなく、会話すること、モラルを教えていくことを、改めて考えさせられました。家族だと押し付けてしまいがちなので反省しました。
- *日頃のコミュニケーションが大切だと改めて思いました。
- *とてもわかりやすく、家でも子どもと話してみようと思いました。
- *SNSを使用しないで生活していくことはできない世の中だと思いますので、より安全・安心に利用していく方法を、子どもと一緒に考えたいと思います。



閉 級 式

【世田谷区教育委員会 社会教育指導員 原田 武司 先生 ご挨拶】

本日はお招きいただきありがとうございます。

LINE 株式会社の浅子先生の講演会、とてもわかりやすくよかったです。

とくにワークショップでは、自分の価値観と他人の価値観の違いを改めて実感しました。

また、大人と子どもの感覚のズレも興味深かったです。

今年度の家庭教育学級は、世田谷区教育委員会委託のもと、7月の給食試食会に始まり、10月の学芸発表会でのPTA コーラス、本日の講演会ですべて終了いたしました。

3回とも、今年度の千歳中学校 家庭教育学級テーマ「子どもの未来のために私たちができること」に沿ったテーマで行なわれました。

委員のみなさま、ご協力ありがとうございました。来年度も引き続きよろしく願いいたします。

【家庭教育学級委員長 挨拶】

本日の講演をもちまして、本年度、家庭教育学級委員会の講演・講習会はすべて終了いたしました。

平成28年度 千歳中学校 家庭教育学級のスローガン「子どもの未来のために私たちができること」に沿ったテーマで、7月の給食試食会、10月にPTA コーラス、そして今回のLINE 株式会社・浅子先生より「LINE の機能や子どもの利用例、リスク対策について」の講演と全3回開催いたしました。

お忙しい中、全てに足をお運びいただいた原田先生をはじめ、毎回、開催に際しご協力いただいた校長先生・副校長先生に改めて感謝申し上げます。

そして、何より講演の企画・運営に尽力くださいました委員のみなさんにお礼申し上げます。

PTA会員のみなさま、家庭教育学級の活動にご理解とご協力をいただき、ありがとうございました。

今回の講演会で使用しましたLINE 株式会社の冊子を、PTA ルームの冷蔵庫横にかけてあります。

ご都合で出席できなかった方、ご興味のある方は、ぜひご覧下さい。

T H A N K - Y O U